

## 「さわやか」小倉事業所開設

### 小倉第一病院に

### ニーズに応え発展を

一月五日十三時から、小倉第一病院六階多目的ホールで、通院介護センター「さわやか」小倉事業所の開設記念式が開催されました。

参加者は、ボランティアさんをはじめ、福岡協北九州地区会の幹事、来賓、さわやか役員、コーディネーターなど三十余名でした。

式は最初に江頭会長が小倉事業所発足までの経過報告をしました。小倉事業所は昨年十一月十五日に設立届けを市障害福祉課にして、準備活動をはじめ、送迎も開始しました。今年に入り、備品、事務用品も整備され、順調にすべりだしました。

来賓として、小倉第一病院看護部長栗本裕氏が挨拶をしました。栗本氏は、小倉第一病院でも、全面的に支援をすることを決め、中村院長から「ボランティアを2回したら一日の有給休暇を与える」との方針が提案され、「さわや

か」に、事務所の提供とともに、協力を約束されました。

また、福岡難病連の甘庶会長より、メッセージが届き、全員に披露されました。

坂倉副会長から、小倉事業所のコーディネーター梶原待子さん、パートの寄友絹枝さんの紹介がありました。また梶原コーディネーターからは小倉事業所の現状の報告があ

りました。最後に竹内副会長(難病連北九州市支部長)が閉会の挨拶をし、約二十分で開設記念式は滞りなく幕を閉じました。

尚、当日は、ボランティアの上城氏から、蘭の鉢植えがお祝いとして、寄贈され壇上を飾りました。

また、ボランティアの池田氏(城野クリニック腎友会会員)より、「芳志をいただきます」した。

御心遣いに感謝申し上げますとともに、今後とも、ボランティア活動もよろしく願います。

### 日産自動車株式会社より

### ボランティア活動資金を

### 瀬戸和人様尽力により

ボランティアの瀬戸和人氏より、「日産ボランティア活動資金支援制度」適用の申し出がありました。これは、瀬戸和人氏が勤務する日産自動車株式会社の制度として設けたものです。

その主旨を次のように述べています。「弊社では、社員個人のボランティア活動を支

## 第5回ボランティア研修交流会

### 日程決まる

第5回ボランティア研修交流会を左記の要領で開催します。詳細については、今から検討しますが、皆様のご予定の都合もあるかと思ひ、お知らせいたします。

また、ボランティアの池田氏(城野クリニック腎友会会員)より、「芳志をいただきます」した。

御心遣いに感謝申し上げますとともに、今後とも、ボランティア活動もよろしく願います。

入れ50人は乗れます。

青海島に着き、昼食をとり午後、遊覧船で島巡り(二時間半)します。下船して、仙崎かまぼこなど、現地特産品のショッピングをして帰路につきます。

定員50名です。また、先の話ですが、ごぞって、ご参加いただくようお願いいたします。

尚、参加確認等の詳細については、後日、事務局よりお願いいたします。チラシも作成予定です。

第5回 ボランティア研修交流会  
日時; 4月26日(日)  
目的地; 青海島  
会費; 3000円

スペースがありましたので、参考資料に掲載しました。

## 臓器移植のあっせん管理料 患者負担受入れを拒否

全腎協「国の責任で」

腎臓(じんぞう)病患者でつくる全国腎臓病協議会(全腎協、会員八万八千人)は十日、東京都内で理事会を開き、日本臓器移植ネットワークが提案していた移植成功後の「あっせん管理料」について、「あっせんシステムは公的な機関であるのが基本であり、国の責任。実質的な成功報酬としての患者負担はおかしい」などとして受け入れを拒否することを決めました。

ただ、同ネットの財政状態が厳しいことは理解できるとして、同時に提案された同ネットへの移植登録料を一万円から三万円へ値上げすることは了承しました。

同ネットは、小柴芳夫会長からの寄付金が大きなウェイトを占めているため、公益性の面から問題があるとして厚生省から改善指導され、会費の値上げや関係学会への寄付要請などに加え、全腎協にたいして実施一年後に腎臓があっせん管理料の負担を提案していました。